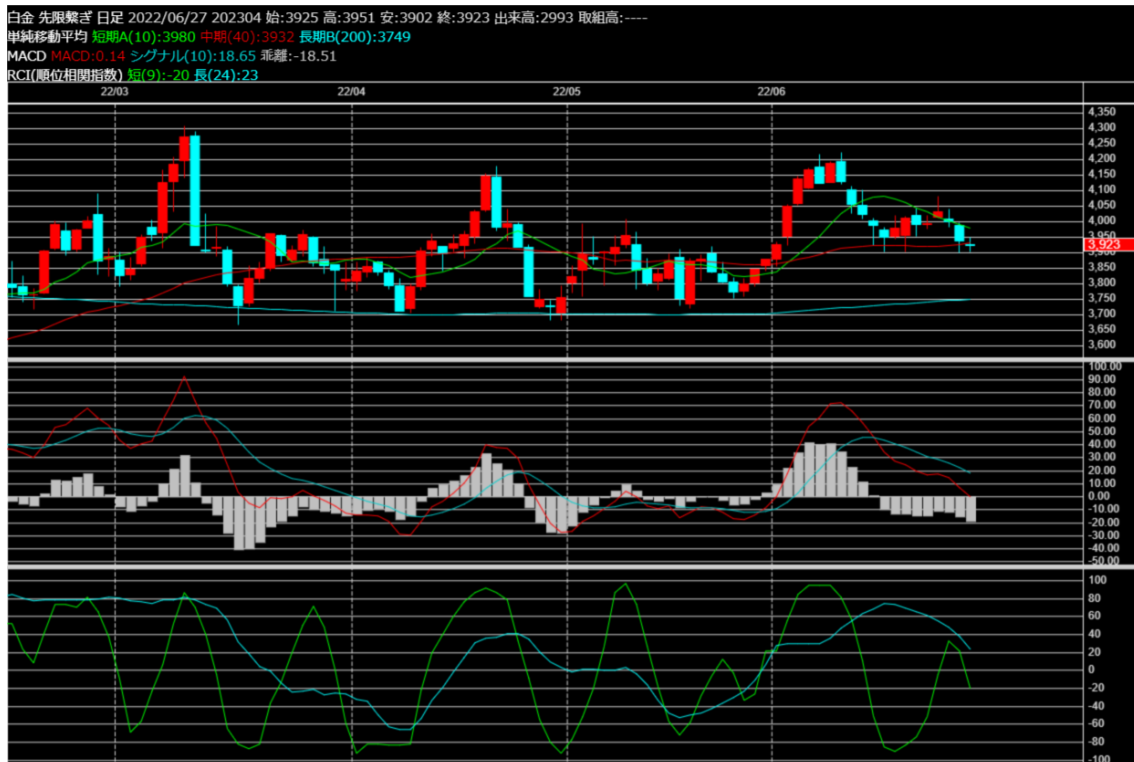


<白金標準先物、新甫 6 月限で 3900 円割れを試すか見極め・・・>



(出所：オアシス)

パウエル FRB 議長の上院議会の議会証言で「経済のソフトランディングについては「非常に困難」と発言し、ドイツ銀行 CEO が「世界のリセッション確率は 50%に近づいている」と発言するなど、景気後退懸念で景気商品は売られる動きを見せ、白金標準先物も 4083 円から 3901 円まで下値を試している。

しかし南アフリカでは、3 年ぶりの賃金交渉で国営電力会社エスコムでは総電力 46000MW の 30%以上が故障やメンテナンスで稼働停止の状況下で NUMSA の労働者が賃金交渉の決裂を受け 9 つの発電所で抗議活動を実施した事で、週末 3 日間は鉱山の電力供給が制限される「ステージ 4」の負荷削減をエスコムは実施するなど鉱山稼働率が制限されている。また世界第 1 位のプラチナ鉱山であるシバニースチールウォーターの米国モンタナ州の 2 つの PGM 鉱山で年間 17 トンの採掘を行なっている 1 つの鉱山がイエローストン国立公園の水害で悪影響を受け 4 週間～6 週間の操業停止を発表するなど供給面に対する不安要因もあり、白金標準先物は 3900 円に抵抗を示しているのではないかと見られる。特に今週は 28 日に新甫 6 月限の発会を控え、新甫発会から 3900 円以下を試す値動きが起こるのか注目される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル**は下げており、RCI でも **短期**が、下げて来ている **長期**で抑えられて下げるなど、オシレーターは弱気を示している。ただ日足は **40 日移動平均線**で何度も下げ止まる動きを見せており、この水準を維持する事が出来るかに注目される。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,370,000 円(2022 年 6 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 6 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>